

「日本食普及の親善大使」の任命（成田吉司さん）



1990年にニュージーランドに渡航、現在オークランド市内外で8店舗の日本食レストランを経営し、日本食の普及に努めてきた成田吉司さんが、農林水産省から2021年度の「日本食普及の親善大使」の一人に任命され、5月24日、伊藤大使から成田さんに「親善大使任命状」を授与しました。

成田さんは1990年の入社当時は1店舗であった大黒レストランを、代表としてニュージーランドの多くの人々から親しまれる代表的な日本食レストランとして育て上げ、現在は国内に8店舗を経営しています。また、成田さんは、自身のレストラングループ経営だけでなく、市内の多くの日本食レストランが参加するイベントの企画、運営、日本食レストランオーナー同士の交流会の立ち上げ等、日本食業界全体の発展に貢献されてきました。こうした点が評価され、今年度は世界各地で働く日本人料理人の中から31名の方が任命された「日本食普及の親善大使」の一人に選ばれたものです。2014年度から始まったこの親善大使には、これまでに世界各地から173名が任命されていますが、今年度初めてニュージーランドから3名が任命されました。

親善大使の任命状を手渡した伊藤大使は「これからも一層の日本食の普及、日本文化の普及に努めてください」と伝え、これに対し成田さんは「これまで苦しい時もありましたが、日本を好きな人、日本食のファンなど多くの人に支えられてこれまでやってこれました。単に食事を提供するだけでなく、食文化を通じて文化交流を深め、日本を好きな人を増やしていくという意識を忘れずに、一所懸命に引き続き貢献していきたいです。」と抱負を述べられました。

成田さん、このたびの「日本食普及の親善大使」への任命、おめでとうございます。食がきっかけとなってニュージーランドの人々がいっそう日本文化に親しむようになるよう、これからもよろしくお願いいたします。

(参考)

2021年度、ニュージーランドからは、Kinji Japanese Restaurant の浜田勤士さん、Cocoro Restaurant のオーナーシェフである徳山真人さん、そして成田吉司さんの3名が、「日本食普及の親善大使」に任命されました。

詳しくは農林水産省のプレスリリースをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/220119.html